

# ドイツ映画祭2009

## DEUTSCHES FILMFESTIVAL IN TOKIO

### HORIZONTE 2009

2009年10月15日[木]~18日[日]

新宿バルト9

東京都新宿区新宿3-1-26 新宿三丁目イーストビル 9階

主催:ドイツ映画輸出公団、GOETHE-INSTITUT JAPAN ドイツ文化センター

後援:ドイツ連邦共和国大使館、朝日新聞社

協賛:メルセデス・ベンツ日本株式会社、ルフトハンザドイツ航空、テュフ ラインランド ジャパン株式会社、洋画★シネフィル・イマジカ

運営:有限会社エミュー 運営協力:株式会社ティ・ジョイ

協力:アテネ・フランセ文化センター

お問い合わせ:【~9/16】03-6659-6151 (平日11:00~18:00) 【9/17~】03-5777-8600 (ハローダイヤル/8:00~22:00)

第22回東京国際映画祭提携企画



## 上映スケジュール

10/15(木)	11:00 ~	14:25 ~	17:00 ~	
	ブッデンブロック家の人々 Buddenbrooks	赤い点 Der rote Punkt	SOUL KITCHEN Soul Kitchen	
10/16(金)	10:00 ~	13:20 ~	16:20 ~	19:30 ~
	ドイツ2009 — 13人の作家による短編 Deutschland 09 - 13 kurze Filme zur Lage der Nation	冬の贈りもの Im Winter ein Jahr	ヒルデ — ある女優の光と影 Hilde	ブッデンブロック家の人々 Buddenbrooks
10/17(土)	10:00 ~	13:00 ~	17:15 ~	19:30 ~
	SOUL KITCHEN Soul Kitchen	マーサの幸せレシピ Bella Martha	赤い点 Der rote Punkt	ドイツ2009 — 13人の作家による短編 Deutschland 09 - 13 kurze Filme zur Lage der Nation
15:30 ~ 来日ゲストによるトーク(60分)&サイン会 ※入場無料				
10/18(日)	10:00 ~	13:00 ~	15:30 ~	17:30 ~
	ヒルデ — ある女優の光と影 Hilde	ネクスト・ジェネレーション'09 Next Generation '09	ラン・ローラ・ラン Lola rennt	冬の贈りもの Im Winter ein Jahr

- ※各回上映開始10分前より開場致します。
- ※各上映、ゲストによる舞台挨拶やQ&Aを予定しております。詳細はホームページをご確認ください。
- ※10/15(木)17:00 ~ の上映前にオープニングセレモニー(20分)がございます。
- ※やむを得ない事情により、上映作品・ゲストが変更になる場合がございます。
- ※全上映作品、日本語字幕付き。
- ※Das Programm auf deutsch finden Sie unter: [www.goethe.de/tokyo](http://www.goethe.de/tokyo)

## 来日ゲストによるトーク&サイン会

(入場無料)

10月17日(土)15:30より、ドイツよりゲストを招きトークショーを開催致します。入場ご希望の方は当日11:00より、11階ドイツ映画祭受付にて座席指定券を発行致します。(満席になり次第配布終了) 終了後は9階スターステージにてサイン会も予定しております。  
※ゲスト等の詳細はホームページをご確認ください。



昨年のサイン会の模様

## 料金 (日時指定/全席指定)

### 1回券

前売券 ¥1,300 (Pコード 555-601) 当日券 一般 ¥1,500 / 学生・60歳以上 ¥1,300

### 特別上映1回券 (『ラン・ローラ・ラン』『マーサの幸せレシピ』『ネクスト・ジェネレーション'09』)

前売券 ¥1,000 (Pコード 555-601) 当日券 一般 ¥1,300 / 学生・60歳以上 ¥1,000

## 前売券のご購入に関して

- 前売券発売日  
9月15日(火)AM10:00よりチケットぴあにて発売
- 前売券ご購入方法  
前売券は下記のいずれかの方法でお買い求めいただけます。  
①電話で予約する。→ 0570-02-9999  
(音声認識予約10:00 ~ 23:00)  
②チケットぴあ店頭で購入。  
③ファミリーマート、サークルKサンクスで購入。  
④インターネットで購入。→ <http://t.pia.jp/>  
※Pコード=555-601
- 前売券は10月8日(木)まで販売致します。
- 前売券の払い戻し、交換、再発行は致しません。

## 当日券のご購入に関して

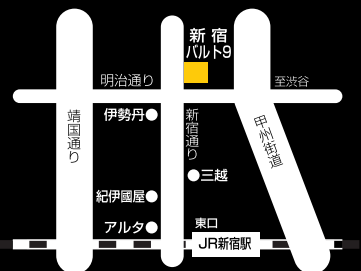
- 当日券の販売について  
当日券は上映日の2日前より、新宿バルト9チケットカウンター(9F)及びオンライン予約システム[KINEZO]で販売いたします。  
チケットカウンターでの当日券は、上映開始後30分まで販売いたします。  
オンライン予約システム[KINEZO]の利用方法は、バルト9のホームページ(<http://wald9.com>)をご覧ください。
- 学生・60歳以上の方  
当日チケット購入時にIDをご提示下さい。
- 障害者手帳をお持ちの方  
チケットカウンターで手帳をご提示いただきますと、学生・60歳以上の料金でご購入いただけます。
- 当日券購入に際しての注意事項  
土・日は、午前11時頃より午後5時頃までの間、9Fチケットカウンターの混雑が予想されます。そのため、時間間隙での来場ですと、映画の開映時刻に間に合わない場合や、満席の場合がございます。余裕を持ってご来場の程お願い申し上げます。

## 会場



東京都新宿区新宿 3-1-26 新宿三丁目イーストビル9階  
03-5369-4955 (24時間自動音声)

<http://wald9.com>



○JR「新宿」駅南口より徒歩約5分  
○地下鉄丸の内線・副都心線・都営新宿線「新宿三丁目」駅、C1番C4番出口より徒歩1分

# ドイツの〈今〉の輝きを楽しみ、〈過去〉の重さを感じとろう。

瀬川 裕 司

今年もドイツから選り抜きの新作が届けられる。まず素晴らしいのは、過去に多くの映画賞に輝いてきたカロリーネ・リンクとファティ・アキンという若き実力派監督の新作を紹介できることだ。アカデミー賞外国語映画賞に輝いた『名もなきアフリカの地で』(2001)以来、7年ぶりにリンクが発表した『冬の贈りもの』は、肉親の自殺によって生じた心の空洞を抱えた人々が〈未来への道〉を模索する感動的なドラマである。アキンの『SOUL KITCHEN』は、自身が生まれ育ったハンブルクへの愛情をこめた〈郷土映画〉でありコメディであるというのだから見逃せない。

次に注目されるのは、ドイツもしくは〈ドイツの歴史〉を楽しめる作品が揃ったことだ。『ドイツ2009』は、〈ベルリンの壁崩壊〉20周年を期に、13人のトップ監督が集結して〈現在のドイツ〉像を多面的に浮かび上がらせようとした意欲的な短編

集だ。『ヒルデ』は、ナチ時代末期にデビューしてのちに世界的スターとなったヒルデガルト・クネフの女優・歌手としての軌跡を追うことで、〈ドイツの戦中・戦後〉という時代そのものをくっきりと浮かび上がらせる秀作である。さらに、文豪トーマス・マン(1929年ノーベル文学賞受賞)の代表的長編小説を映画化した『ブッデンブローク家の人々』は、19世紀のハンザ都市リュウベックを舞台に、名門商家の人々がたどる運命を描き出した重厚な作品としてお薦めできる。

そして今回もっとも喜ぶしいのは、ミュンヘン映画・テレビ大学で学んだ宮山麻里枝による、すでに国際的な成功を収めている監督作『赤い点』をご覧いただけることだ。日独文化を知りぬいた宮山が繊細に表現する日本人女性とドイツ人家族との魂のふれ合いは、観る者の心を揺さぶらずにはまい。

## SOUL KITCHEN Soul Kitchen

ファティ・アキン監督 Fatih Akin

2009年 / 99分 / カラー / 1:1.85 / ドルビー SRD

ドイツ映画界をリードする存在であり、『愛より速く』などほとんどの監督作が日本でも一般公開されているファティ・アキンの期待の最新作。アキンが生まれ育った都市ハンブルクに捧げた〈郷土映画〉であるだけでなく、喜劇作品としても注目される。主人公はハンブルクの下町で不人気なレストランを営む男。新しくコックを雇うとすっかり客層が変わり、店は嘘のように繁盛する。だが男が経営を弟にまかせ、ガールフレンドのいる上海に行こうとしたところ、店は知人に乗っ取られてしまう……。本年のベネチア映画祭のコンペ部門で初上映された、リラックスして楽しめる快作。



写真提供/The Match Factory

## ブッデンブローク家の人々 Buddenbrooks

ハインリヒ・ブレレーア監督 Heinrich Breloer

2008年 / 152分 / カラー / 1:2.35 / ドルビー SRD

文豪トーマス・マン(1875-1955)が26歳の若さで発表した自伝的長編の映画化作品。マンが1929年にノーベル文学賞を受けた際に、その根拠として『ブッデンブローク家の人々』が挙げられたこともよく知られている。19世紀なかばのハンザ都市リュウベックを舞台に、隆盛を誇った名家ブッデンブローク一族が時代の変化とともに緩慢に没落していくさまが重厚に表現される。細部まで正確に再現された街並み、華麗な衣装、豪華俳優陣の演技などもお楽しみいただきたい、香り高い文学映画。監督のブレレーアは史実とフィクションを融合させる〈ドク=ドラマ〉というジャンルの第一人者。



写真提供/Bavaria Film International

## 赤い点 Der rote Punkt

宮山麻里枝監督 Marie Miyayama

2008年 / 82分 / カラー / 1:2.35 / ドルビー SRD

ヴィム・ヴェンダースをはじめ多くのすぐれた人材を輩出してきたミュンヘン映画・テレビ大学で学んだ宮山麻里枝の鮮烈なデビュー作。東京の大学生、亜紀は一枚の地図に導かれて南独の田園地帯を訪ねる。地図に記された〈赤い点〉とは、18年前に彼女の家族が自動車事故にあった場所を示すものだった。偶然事故に関係するドイツ人家族と知り合ったことから、もうひとつの物語がはじまる……。実話に基づいた、深い感動をもたらす作品。ホーフ映画祭ドイツ映画奨励賞、バイエルン映画賞新人プロデューサー賞を受けたほか、すでに世界の多くの国々で上映され、絶賛されている。

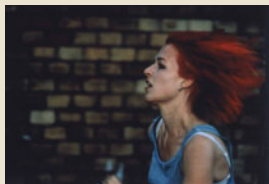


写真提供/ARRI Media Worldsales

## 見逃してはならない近年の名作2本と、若い才能の息吹を味わおう。

今年は特別上映として、少し前に世界的なヒットを記録した2本、今日のMTVにも強い影響を与えていると言われている『ラン・ローラ・ラン』と、キャリアウーマンが自分を見つめなおす様子を描く心温まる作品『マーサ

の幸せレシピ』を上映します。また、ドイツの全映画大学の学生による短編のなかから選び抜かれた最新の傑作選集『ネクスト・ジェネレーション'09』もご紹介しますので、ぜひこの機会にご覧いただきたいと思います。



© X-Filme Creative Pool

### ラン・ローラ・ラン Lola rennt

トム・ティクヴァ監督 Tom Tykwer 1998年 / 81分 / カラー / 1:1.85 / ドルビー SRD

ドイツ映画に新しい時代が到来したことを強く印象づけ、監督トム・ティクヴァの名を世界にとどろかせた伝説的な名作。いまだ大金を必要としているボーイフレンドを救うために、ローラが20分間、ベルリンの街を駆け回る。ティクヴァはその〈20分間〉を微妙に異なる三つのヴァージョンで提示し、アニメーションを入れたリフィルムの速度を変えたりといった革新的な技術を入れて世界の映画ファンを驚かせた。その後、ティクヴァだけでなく主演のフランカ・ポテンテ、モーリツ・プライブトロイも国際的な活躍を見せていることは周知の通りである。

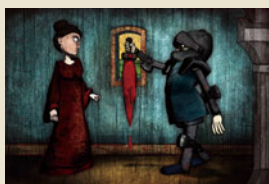


写真提供/ショウゲート

### マーサの幸せレシピ Bella Martha

サンドラ・ネットベック監督 Sandra Nettelbeck 2000年 / 107分 / カラー / 1:1.85 / ドルビー SRD

一流レストランのシェフをつとめる独身女性マーサの姉が急死する。姉の幼い娘と暮らすことになったマーサは、次第に仕事にすべてを賭けてきた人生を見直すようになる。セカンド・シェフとして雇われたイタリア人コック、マリオも彼女の世界観を変えてくれるのだった……。そんな心身の変化のプロセスを、女性監督ネットベックはきめ細やかに、説得力豊かに描いて愛すべき作品に仕上げた。アメリカでも大ヒットを記録し、『幸せのレシピ』としてリメイクされたことも記憶に新しい。主演のマルティナ・ゲテックはドイツ映画賞を受け、現在は同国を代表する女優となっている。



写真提供/German Films

### ネクスト・ジェネレーション'09 Next Generation '09

ユリア・C・カイザー監督、トビアス・ビルゲリ監督 ほか Julia C. Kaiser, Tobias Bilgeri u.a.

2008年・2009年 / 95分 / カラー・モノクロ / 1:1.66・1:1.85・1:2.35 / ドルビー SRD

ドイツの若い映像作家たちによる、選りすぐりの短編映画集。ドイツでは映画監督志望者はまず映画大学に入学し、在学中に短編を撮ることからキャリアをスタートさせるのが通例である。国内の重要な映画祭では短編を上映するセクションが存在し、そこに選ばれて注目を集めることが成功への第一歩となるので、競争はきわめて熾烈だ。ここでは、本年のカヌヌ映画祭でも上映されて高い評価を得た、ドイツの映画大学生による短編12本(アニメ4本を含む)を紹介する。完成度の高さ、斬新さ、まぶしいまでの魅力が満載のプログラム。

## 冬の贈りもの Im Winter ein Jahr

カロリーネ・リンク監督 Caroline Link

2008年 / 129分 / カラー / 1:2.35 / ドルビー SRD

『名もなきアフリカの地で』(01)でアカデミー賞外国語映画賞に輝いたカロリーネ・リンクが7年ぶりに世に送る待望の新作。裕福な家庭の息子が自らの命を絶つが、周囲の誰にもその理由がわからない。事実を受け入れられない母は、ある画家に息子と娘の肖像画を依頼する。絵が完成するまでの過程で、家族の誰もが心の空白を埋められずに苦しんでいること、画家も精神的に傷を負った人物であることが明らかとなる……。喪失感のなかで新しい人生を歩みだそうとする人々の感動的なドラマ。透明感あふれる映像が素晴らしい。09年ドイツ映画賞銀賞受賞。



写真提供/Celluloid Dreams

## ドイツ2009 — 13人の作家による短編

### Deutschland 09 - 13 kurze Filme zur Lage der Nation

トム・ティクヴァ監督、ヴォルフガング・ベッカー監督 ほか Tom Tykwer, Wolfgang Becker u.a.

2009年 / 151分 / カラー / 1:1.85 / ドルビー SRD

1968年の学生蜂起から40年、〈ドイツの秋〉から30年、〈ベルリンの壁崩壊〉から20年が経過した節目に当たるいま、トム・ティクヴァ(『ラン・ローラ・ラン』他)の呼びかけに応じ、映画界を代表する才能が〈現在のドイツ〉を表現するために結集した。『ゲッパイ、レーニン!』のヴォルフガング・ベッカー、『愛より強く』のファティ・アキン、『わが教え子、ヒトラー』のダニ・レヴィなど13人がそれぞれのスタイルで短編を撮り、ティクヴァの言葉によれば「万華鏡のような」刺激的な映画が出来上がった。あらゆる映画ファン、ドイツに関心のある方々には必見の記念碑的作品。



写真提供/The Match Factory

## ヒルデ — ある女優の光と影 Hilde

カイ・ヴェッセル監督 Kai Wessel

2008年 / 137分 / カラー / 1:2.35 / ドルビー SRD

ナチ時代末期の映画界に彗星のごとくデビューし、戦後に世界を股にかけた華やかなキャリアを築いたヒルデガルト・クネフ(1925-2002)。ドイツが生んだ世界的スターという点ではマレーネ・ディートリヒに次ぐ存在である彼女の人生を忠実に追ったのが、この映画である。有名なナチ党員と恋愛関係にあったという事実が招くトラブル、米軍士官と結婚してハリウッドに渡ったものの仕事を得られない苦悩、母国での再度の映画出演と〈スキャンダル女優〉という悪名、その後つかんだ女優および歌手としての名声……。スターの栄光と孤独を人気女優ハイケ・マカチュが好演。



写真提供/Beta Film